

平成19年度 事務事業評価表		担当	建設部 土木課				内線等	2264
事務事業名	側溝路側整備事業					事業コード	3. 建設事業(ハード事業)	
根拠法令等	道路法					A法令		

総合計画での位置付け

基本目標	2. 快適でやすらぎのあるまちづくり	施策名	道路
------	--------------------	-----	----

事務事業の内容

対象(受益者)	市道全般に対して
手 段	側溝、路側を整備することにより
想定する成果	道路の有効利用と通行の安全を図る

事業の概要

項 目	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度計画
側溝・路側整備費	78,123千円	74,362千円	37,050千円
箇所数	60箇所	59箇所	19箇所
延長	2,490m	2,613m	875m

成果指標

成果指標名	地区要望実施率	1m当り事業費
成果指標の説明	実施箇所数 / 要望件数 × 100	総事業費 / 施工延長

事業の進捗状況 ( 一般 会計 ) (単位：千円)

		平成18年度決算(実績)				平成19年度決算(実績)				平成20年度予算(計画)			
成果指標		83%				81%				85%			
成果指標		33,923円				30,297円				48,171円			
事業費	事業費	78,123				74,362				37,050			
	人件費	6,344				4,804				5,099			
	(人数)	正規	0.8	非常勤	0.05	正規	0.6	非常勤	0.05	正規	0.65	非常勤	
	合計	84,467				79,166				42,149			
財源内訳	国												
	県												
	市債												
	その他												
	一般財源	84,467				79,166				42,149			

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明(問題点)
	19評価	16評価	19評価	16評価	
達成度	2	2	2	2	地元の要望に対して約80%の実施率である
経済効率性	3	3	3	3	投入された予算に十分見合った成果をあげている。
事務効率性	3	3	3	3	投入された人員に十分見合った成果をあげている。
必要性	3	3	3	3	市が実施すべき事業である。
小計	11	11	11	11	
施策への貢献度	3	-	3	-	総合計画「施策」の達成に非常に効果がある
合計	14	11	14	11	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	A	A	A	地元からの要望の多い事業で、道路を管理していく上で必要な事業である
------	---	---	---	---	-----------------------------------

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

前回(H16評価時)「今後改善すべき点」として記載した内容及びその実施状況

前回(H16評価時に)記載した「今後改善すべき点」
工事の発注件数が多い事業であるためさらに事務の効率化を図っていく
上記改善点の実施状況
工事の発注時期と発注規模を調整して発注している

今後さらに改善すべき点

平成21年度予算に反映する項目

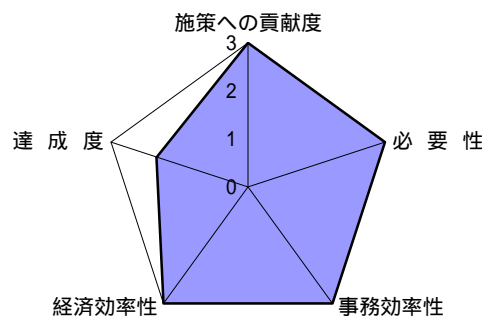
各総代区より要望により工事を施工しているが、舗装整備事業と合せて最低でも1地区1事業の予算確保

今後の方向性

**現状維持**

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

内部管理事務事業、義務的事業は必要性を、また施策名がその他のものは施策への貢献度を評価していません。



課内評価と部長評価の平均点